

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	2年次
科目名	老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健康）					
担当教員	◎船瀬孝子 菊本由里 伊藤咲 吉村牧子					
目的	老年期を生きる人々の多様性を理解し、高齢者の健康状態のアセスメントと看護を展開するために必要な基礎的知識と技術を学ぶ。					
目標	1) 老年期を生きる人々の多様性と老年看護の特徴が理解できる。 2) 高齢者の身体の加齢変化とアセスメントの視点が理解できる。 3) 高齢者によくみられる身体症状とアセスメントの視点および看護が理解できる。 4) 生活・療養の場における高齢者の看護について理解できる。					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、保健医療福祉行政論、社会福祉原論、老年看護学概論、老年看護学実践論Ⅱ・Ⅲ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				0.7
	レポート	課題レポート成績				0.3
	記録等					
	その他					
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 ③生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図 医学書院 第3版 2016(978-4-260-02836-3) *①②ともに前期科目：老年看護学概論で購入したテキストである					
参考資料	授業中に適宜紹介、配布					
備考 (受講上注意、事前学習等)	高齢者に起こりやすい症候について事前学習をしておくこと。 高齢者へのインタビューや高齢者疑似体験演習を実施する。					